

謹賀新聞 H20.1.1発行

A HAPPY NEW YEAR



since 2002.4.1



◆昨年はどうな一年であったか、自分自身の備忘録です

主なできごと>>>>2007(H19)

中越沖地震きょうの地震では、新潟県にある原子力発電所の施設から黒い煙が上りました。心配された放射能漏れは確認されていませんが、北海道の泊原発の地震対策を改めて確認してみました。新潟県の柏崎刈羽原子力発電所からあがる煙一。きょうの地震発生後、4基の原発が緊急停止しました。煙は、変圧器からでたもので放射能漏れはこれまで確認されていません。北海道で2基が稼動する泊原子力発電所一。地震対策は？(石本記者)「北海道電力のホームページによりますと、泊原発は、マグニチュード6.5の直下型地震で耐えられる構造になっているということです」しかし、きょうおきた大地震は、マグニチュード6.8。泊原発では、想定を超えた地震がおきた際も原発が緊急停止する仕組みとなっていて安全としています。また北電では、泊原発は、揺れの少ない硬い地盤の上に造られているとして、その安全性をアピールしています。(2007年7月16日(月)「どさんコワイド180」)



まずは「ねじれ国会」について。先の選挙で、参議院では民主党が第一党になりました。で、何が変わるかってえと、自民党の暴走が止まる。衆議院は自民多数なので、多数決とれば自民の勝ち。ところが参議院では民主多数なので、多数決とれば民主の勝ち。二つの議会を通さなきゃならない仕組みなので、自民党のわがままは通らなくなりました。福田さんが「対話路線」なのもそのせい。話し合っ、民主党に何とか理解してもらいたい。で、参議院を通してもらいたい。小沢さんは、話し合いにあまり乗り気じゃない。話し合っ、結果自民党の意見が通ったら、民主党は何のためにあるの？ってことになるからね。与党と野党のせめぎあいです。ってなわけで、国会が正常に機能する。とか言ってるけど、どうなんだ？実際。政治家さんたちの最近の意見を聞いていると、バッラバラな感じがしませんか？国民を見て発言する係の政治家さんはテレビに出まく



り、権力を持った政治家さんは政権の守り方・獲り方に躍起になって、国民なんかそっちのけ。次の選挙のことを考えたときだけ、国民の顔色を見ている感じ。忘れないでほしいのは、国会議員ってのはあくまで国民の代表者なんだってこと。国会は、国民のために開かれるべきだってこと。あんたたちの利権だの権力争いなんかに興味はありません。ちゃんと、国民を見た国会にしてくれ。政治家がそういう気持ちをなくさないように、国民もしっかり見て行かないとね、政治のこと。ほっとくと。俺ら国民完全無視で制度が決まっていってよ。教育再生がいい例。今教育を受けている生徒にも、現場の先生にも、なんにも聞かないで制度が決まる。居酒屋チェーンの社長呼ぶくらいなら、教育現場の声を聞こうとしてくれよな。国会までがそんなことにならないように、しっかり見ていこう。

*****世界中を駆け巡った*****
サブプライムローン

住宅ローンの実施にあたっては、債務者の信用力の調査が行われる。ここで十分な信用力を債務者が有していれば、その信用に基づく貸付として、古典的な住宅ローンとして扱われる。ここで所定の古典的な基準を満たさない債務者に対する貸付を行う場合を総称してサブプライムローンと呼ぶ。債務者の所得水準が低い場合が典型的であるが、信用力を超えた借入を行って不動産投資を行う場合などにも、同様にサブプライムローンが利用されてきた。一般的な特徴としては、貸付利率が通常の住宅ローンに比べて高くなり、貸付者が取る信用リスクも高くなる。このため、債務者が弁済を容易とするための特別なアレンジや、貸付を行う側としては、貸付リスクの分散が通常の住宅ローンよりも重視されることとなる。

☆他のページもよろしくどうぞ！

[枝豆のママ知識](#) [「私たちの食料を考える」](#)

[○メール○](#)

このページへのリンクは自由ですが転載の場合はご連絡ください。

all rights reserved,copyright (c) by hiroschi hokari 2002